

平成30年第7回富山県教育委員会議事日程

6月4日（月）午後1時00分

教育委員会室

- 1 会議録の承認について
平成30年5月18日開催の平成30年第6回富山県教育委員会会議録の承認について
- 2 報告事項
 - (1) 黒部市立中学校の設置及び廃止について
 - (2) 平成30年度「日本遺産」の認定について
- 3 その他
今後の教育委員会等の日程について

平成30年6月4日

小中学校課

黒部市立中学校の設置及び廃止について

1 設置する学校

学校名、位置及び設置年月日

学校名	位置	設置年月日
黒部市立明峰中学校	黒部市山田新2062番地	平成32年3月31日
黒部市立清明中学校	黒部市中新30番地	平成32年4月1日

2 廃止する学校

(1) 学校名、位置及び廃止年月日

学校名	位置	廃止年月日
黒部市立宇奈月中学校	黒部市宇奈月町下立825番地	平成32年3月30日
黒部市立桜井中学校	黒部市山田新2062番地	平成32年3月30日
黒部市立鷹施中学校	黒部市荒町485番地	平成32年3月31日
黒部市立高志野中学校	黒部市中新30番地	平成32年3月31日

(2) 廃止の理由

- ・ 黒部市立宇奈月中学校と黒部市立桜井中学校を統合し、黒部市立明峰中学校を新設
- ・ 黒部市立鷹施中学校と黒部市立高志野中学校を統合し、黒部市立清明中学校を新設

(3) 生徒の処置

各々新設する黒部市立明峰中学校と黒部市立清明中学校へ通学する。

平成 30 年 6 月 4 日
生涯学習・文化財室

平成 30 年度「日本遺産」の認定について

5 月 24 日に文化庁から本県南砺市の申請を含む 13 件が平成 30 年度「日本遺産」に認定されました。

併せて、平成 29 年度認定「日本遺産」において、本県富山市と高岡市が申請自治体に追加されるなどの認定内容の変更がありました。

1 本県に関する平成 30 年度「日本遺産」の認定

申請者	南砺市
ストーリーのタイトル	「宮大工の鑿 ^{のみ} 一丁から生まれた木彫刻美術館・井波」
構成文化財	瑞泉寺、八日町通り、城端神明宮祭の曳山行事など 33 件

<「宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波」ストーリーの概要>

瑞泉寺の再建に端を発し、宮大工の鑿一丁から生まれた華麗にして豪壮な井波彫刻と、その木彫職人たちが造りあげたまち井波。彫刻工房と町家が軒を連ねる石畳の通りには、木槌の音が響き、木々の薫りが漂う。通りには至るところに七福神や十二支などの木彫刻が飾られ、まちはさながらに木彫刻の美術館である。春には井波彫刻で飾られた曳山や屋台、獅子舞がまちを練り歩き、地域の安泰や五穀豊穡を祈る。地域の暮らしに根づく井波彫刻は、その高い技術力や芸術性を広く全国から認められ、今や日本の木彫刻文化の護り手となっている。



木彫刻の工房と町家が並ぶ石畳の八日町通り

2 本県に関する認定内容の変更

申請者	山形県酒田市など 11 市町
ストーリーのタイトル	「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」
申請自治体の追加	富山市、高岡市など 27 市町
構成文化財の追加	富山市の旧森家住宅など 4 件、高岡市の旧秋元家住宅（高岡市伏木北前船資料館）など 9 件 ほか

【参考】

- (1) 平成 30 年度認定件数 13 件 (13 道県) / 申請件数 76 件 (45 都道府県)
- (2) 本県に関するこれまでの認定件数 1 件
高岡市「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」(H27)

参 考

今後の教育委員会等の日程について

- 平成 30 年 7 月 17 日（火） 13:00 予定
教育委員会 （教育委員会室）